

みんなが主役！
ごみ減量

町田市からのお知らせ

ごみ資源化施設建設 NEWS

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

Vol.32

発行日：2022年7月21日
発行：町田市環境資源部
問合せ：循環型施設整備課
住所：町田市森野2-2-22
電話：042-724-4384

『町田市バイオエネルギーセンター』の 愛称を募集しています！

市民の皆さまに、施設に対する理解を深め、親しみを感じていただき、ごみの減量、資源化等による環境負荷低減への意識を高めていただくことを目的として、施設の愛称を募集しております！

たくさんの応募、
お待ちしている
のん！

応募資格：市内在住の方（年齢不問）

募集期間：6月1日（水）から8月31日（水）まで

応募方法：メール、郵送、FAX、または募集

要項を設置している市庁舎7階もしくは町田市バイオエネルギーセンター2階・3階の投函箱まで直接持参ください。



町田市バイオエネルギーセンターの外観

町田市エコキャラクター
ハスののん

結果については、町田市ホームページに掲載のほか、町田市バイオエネルギーセンターでの掲示を予定しています。

また、受賞された方々には記念品を贈呈し、2023年3月頃に表彰式を行う予定です。

応募方法はこちら♡
または、町田市HPへ♡



バイオエネルギーセンター 愛称 検索

『町田のごみの歴史を学ぼう！つくろう！親子ワークショップ』開催

町田市バイオエネルギーセンターにある「ごみ歴史年表」の一部をつくるワークショップを開催します！

町田市のごみ処理の歴史を知り、ごみに対する理解を深めていただくことを目的としています。

2022年1月に稼働した町田市バイオエネルギーセンターを見学するとともに、展示品『町田のごみ歴史年表』をみなさんで制作してみませんか？

開催日時：8月21日（日）

場所：町田市バイオエネルギーセンター3階

対象：町田市在住の4年生以上の小学生とその保護者

募集：先着12組、7月20日（水）正午から7月27日（水）午後7時まで。

イベシスコード220721A-A またはイベントダイヤル（☎042・724・5656）。

詳細は町田市ホームページ「ごみの歴史 ワークショップ」で検索、または2次元コードでご確認ください。



この部分をみなさんで作っていただきます！



見学者用展示品「ごみ歴史年表」

2次元コードによる
検索はこちらから♡



ごみの歴史 ワークショップ 検索

室内でも
熱中症には
気をつける
のん



発電機能がこんなに違います！～新旧施設で比べてみました～

新しくなったごみ処理施設(町田市バイオエネルギーセンター)と以前の施設(町田リサイクル文化センター)では、ごみ処理の能力や方法など変わったところが数多くあります。

今回は、その中でも施設の代表的な特徴でもある、“発電機能”について比較します。

①発電機能の種類

町田市バイオエネルギーセンターでは、右表1にあるように、たくさんの種類の『再生可能エネルギーによる発電』を行っており、CO2排出量を削減して地球環境に貢献しています。

特に“バイオガス化施設”による『バイオガス発電』は大きな特徴で、一般廃棄物を処理するごみ処理場での採用は東日本初となっています。

表1 整備した発電機能の種類

名称	町田市バイオエネルギーセンター(新)	町田リサイクル文化センター(旧)
蒸気タービン発電	○	○
バイオガス発電	○	×
太陽光発電	○	×
小型水力発電	○	×
風力発電	△	×

凡例 ○:あり、×:なし、△:施設全体ではなく、照明単体のみ使用

②発電能力の比較

右表2では、新旧どちらにも存在する蒸気タービン発電について設置台数と出力の比較を行いました。

旧施設に比べ、技術革新により効率よく蒸気から電気を作り出すことができたようになったこともあり、発電能力が旧施設のおよそ1.5倍にもなりました。

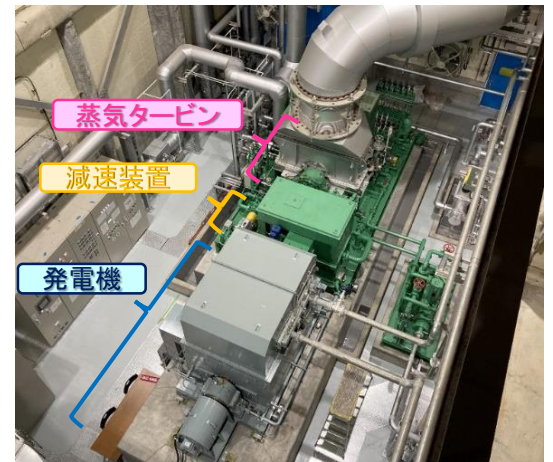
発電した電力は施設内で使用し、余った電力は売却しています。

町田市バイオエネルギーセンターの蒸気タービンによる発電は、一日あたり最大で約15万kWhもの発電が可能で、これは**約1万4千世帯が一日に使用する電気量に相当**します。

※世帯数の換算は「環境省 平成31年度(令和元年度)家庭部門のCO2排出実績統計調査」を基に行っています。

表2 蒸気タービン発電の新旧比較

名称	町田市バイオエネルギーセンター(新)	町田リサイクル文化センター(旧)
設置台数	1基	2基
出力	6,220kW	4,000kW(2,000kWx2)



蒸気タービン発電機(新施設)



相原地区で資源ごみ処理施設と(仮称)大戸広場に関する説明会を開催しました



説明会の様子

2022年6月25日(土)に、相原における資源ごみ処理施設および(仮称)大戸広場の整備概要について、ゆくのき学園周辺地域のみなさまに向けた説明会を開催しました。当日はおよそ30名の方に出席いただきました。

なお、当日の説明会での資料やQ&Aは、市のホームページに掲載します。

今後も必要に応じて説明会等を開催していく予定です。

工事説明会でのQ&A(抜粋)

Q ごみの搬入車両はどれくらいを想定しているのか?

A 搬入車両については1日約50台～60台を想定していますが、詳細はこれから検討してまいります。

Q 資源化施設と学校の距離感について、臭気や振動等の影響はないか?

A 100メートル以上の距離を取っているため、ご迷惑をかけることはないと考えています。

